

# 西日本タンポポ調査ニュース



## 「タンポポ調査・西日本2015」報告会のご案内



タンポポ調査・西日本実行委員会では、タンポポ調査・西日本 2010 の成果を受けて、5 年間の変化を調べるために、2014 年と 2015 年の春に西日本 19 府県で多くの市民に呼びかけて、タンポポ調査を実施しました。その結果、前回到引き続いて約 7 万点以上の有効データが集まり、西日本の在来種タンポポの分布や外来種、及び、雑種タンポポの分布の状況が明らかになりました。このたび、今回の調査の報告書も完成し、ここにタンポポ研究者の保谷彰彦先生を講師にお呼びして、下記の要領で調査報告会を開催することになりました。タンポポ調査に関心のある方はぜひともお集まり下さい。

【日時】 2016 年 3 月 20 日（日）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

【会場】 大阪市立総合生涯学習センター 第 1 研修室（定員 120 名）<http://osakademanabu.com/umeda/>  
大阪駅前第 2 ビル 5 階 大阪市北区梅田 1-2-2 TEL 0-6345-5000

アクセス：JR「大阪駅」より 5 分、JR 東西線「北新地駅」よりすぐ

地下鉄「西梅田駅」・「東梅田駅」より 3 分、「梅田駅」より 5 分

【主催】 「タンポポ調査・西日本」実行委員会（代表：布谷 知夫 三重県総合博物館長）

【参加費】 500 円（資料費・「調査報告書」を含む）

### 【プログラム】

13:10 受付開始

13:30 開会のあいさつ（布谷代表）

13:40 タンポポ調査・西日本 2015 の調査報告（調査実行委員会事務局）

終了後、質疑応答・追加報告

<休憩>

15:00 講演 「私が見た日本のタンポポ～高山・里山から都心の空地まで～」

\* 講師 保谷彰彦（ほや あきひこ、たんぽぽ研究者・科学ライター）

略歴 東京大学で雑種タンポポの研究、農業環境技術研究所や国立科学博物館で勤務、  
2015 年 5 月に「わたしのタンポポ研究」（さ・ら・え書房）を出版。

16:00 質疑応答・意見交換・諸連絡

16:30 終了（17:00 までに撤収）

17:00～19:00 懇親会を予定しています。

（タンポポ調査・西日本実行委員会事務局）

府県別種ごとのサンプル数

		和名	福井	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	計		
在来種	黄 花 型	カンサイタンポポ	0	406	760	542	2674	936	529	602	4	0	2350	111	15	4897	3482	71	54	37	5	17465		
		トウカイタンポポ	0	323	62	1	3	0	0	41	1	2	8	1	40	0	1	163	14	1	0	0	661	
		セイタカタンポポ	158	16	241	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	417
		オキタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
		シナノタンポポ	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	10	0	4	24	
		カントウタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		在来種二倍体(不明)	0	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	15
	倍 数 体	ヤマザトタンポポ	50	3	7	6	0	61	0	0	11	130	37	30	1	0	0	108	7	0	0	0	451	
		クシバタンポポ	1	4	7	1	0	20	7	0	7	16	81	15	1	54	1	5	161	0	0	0	380	
		ツクシタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	2	0	18	
		モウコタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	3	0	0	62	0	73	
		エゾタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	7	
		オオクシバタンポポ	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	28	
		黄花型在来種倍数体(不明)	0	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	1	0	0	0	32	
	白 花 型	シロバナタンポポ	51	249	202	63	190	118	109	81	25	199	339	528	337	203	146	1966	2638	87	506	8037		
キビシロタンポポ		0	51	26	0	0	9	11	0	21	7	741	128	21	0	8	267	20	6	0	0	1316		
白花型在来種(不明)		0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
外 来 種	セイヨウタンポポ	376	464	274	418	2175	571	595	270	121	509	1110	889	545	565	623	2237	2656	504	1023	15925			
	アカミタンポポ	54	69	54	96	567	136	131	48	18	59	415	396	96	236	364	631	639	147	197	4353			
	外来種(不明)	282	1322	1515	806	2498	1355	589	540	446	411	1492	1073	314	1411	1024	1602	1342	418	504	18944			
計		972	2911	3180	1935	8107	3211	1972	1582	654	1486	6596	3175	1400	7366	5652	7058	7554	1264	2244	68319			



## タンポポ調査の結果が出ました

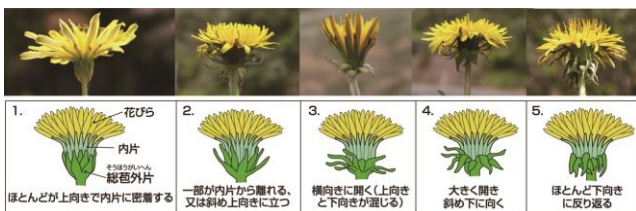
### タンポポ調査・西日本実行委員会事務局

皆様にご協力いただき、2014～2015 年にかけて調査を行いました「タンポポ調査・西日本 2015」の結果がまとまりました。調査へのご協力ありがとうございます。

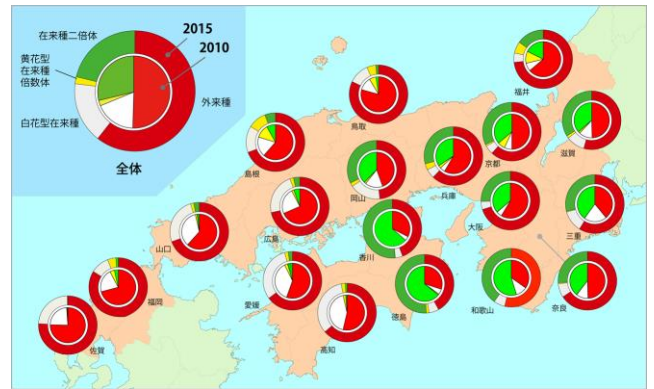
その結果は、①全体の報告会（前ページ）、②報告書、③カラーチャート、④ホームページを通じて皆様にご報告いたします。報告書とカラーチャートは、全体の報告会に合わせて配布できるよう準備を進めています。また、PDF ファイルをホームページに掲載する予定ですので、印刷物の入手が困難な場合はそちらをご利用ください。各府県ごとには、別に報告会や展示会を開催する場合がありますので、ホームページをご覧ください。

今回の調査結果の概要は次のとおりです。

- ・調査範囲外などで無効のものを加えると、7万件を超えるたくさんのデータが集まりました。
- ・カンサイタンポポ、トウカイタンポポなどの在来種 13 種類と外来種（アカミタンポポ、セイヨウタンポポ）の計 15 種が見つかりました。
- ・各府県での種類ごとのサンプル数は前ページの表のようになりました。
- ・モウコタンポポが香川県、広島県で新たに見つかりました。
- ・このニュースレターでも報告されましたが、愛媛県と高知県で合同の調査が行われ、謎だったツクシタンポポの生態が明らかになってきました。それらにより愛媛県のレッドデータブックのツクシタンポポの内容が改訂されました。
- ・外来種の総苞外片は下向き（下図の4と5）が多かったのですが、1と2の上向きが次第に増えてきていることがわかりました。



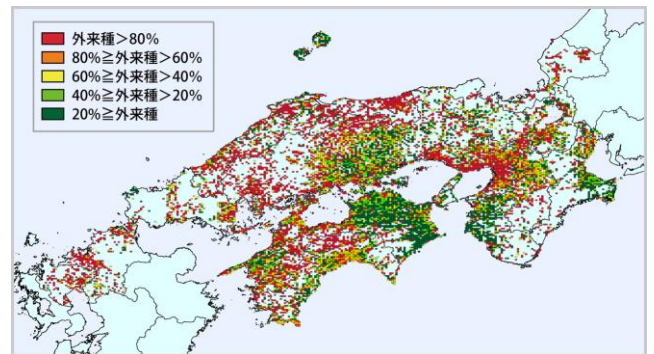
タンポポの総苞外片の開き方



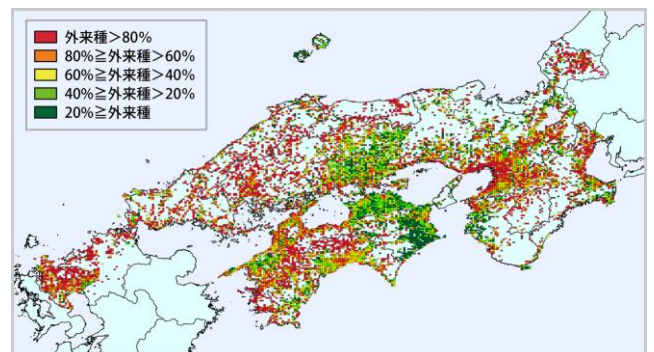
各府県のタンポポの割合

- ・外来種の割合が前回（2010）の調査よりも増えていました。しかし、地域によっては大阪府など減少しているところもありました。

詳しくは報告書などをご覧ください。調査に参加された方からは、「やって良かった」、「今まで気がつかなかったことを発見した」などの感想も多数寄せられています。次の調査があるかはまだ決まってはいませんが、もし機会がありましたらぜひご参加ください。



2 × 2 メッシュごとの外来種の割合 (2010)



2 × 2 メッシュごとの外来種の割合 (2015)



## 愛媛県大洲市のタンポポ

阪本 愛 (広島県)

研究レポートのために写真を整理していて、3年前の写真を見てびっくりしました。愛媛県大洲市での写真ですが、1枚目の写真はオオズ(トウカイ)タンポポではないように思えます。また、先日投稿(2015年5月17日)した2枚目の白い花のオオズタンポポも不



1 枚目



2 枚目



3 枚目



4 枚目

安になってきました。どなたかアドバイスをお願いします。

3枚目、4枚目の写真は、同じ3年前のオオズタンポポの写真です。こちらは、オオズ(トウカイ)タンポポだと思うのですが…。

(2016年8月29日 MLに投稿)



## 大洲のタンポポは「オオズタンポポ」

森田 竜義 (新潟県)

大洲のタンポポは4枚とも、「オオズタンポポ」と呼ばれている二倍体だと思います。花粉の情報がないので、ほとんど勘に頼ったものですが。

1枚目をモウコと疑ったのは、小花数が少なく頭花がほっそりとしているからだと思いますが、二倍体は変異が大きく、様々な形態のものを含むことを念頭に置いておく必要があります。頭花の周縁の小花が白く、花茎や葉の中肋が赤い、2枚目の写真は珍しいタイプですが、二倍体のカントウタンポポの集団中にこのような変異を見たことがあります。これも「オオズタンポポ」と考えてよいと思います。

(2015年8月29日 MLに投稿)



## 大洲市周辺に分布するトウカイタンポポの変異

坂本 彰 (高知県)

大洲市周辺に分布するトウカイタンポポについて、外部形態からその範囲を決め込むのは避けたほうが良いと思います。添付した写真は、2010年に大洲市で1時間ほどの間に採集したタンポポの頭花です。もう少



し丁寧に調査すれば、変異の幅はもっと大きいでしょう。

それと、調査から時間がたって見る写真はその個体だけの印象が強くなります。写真を写した個体群がどのような形態で、写真は個体群のどのような位置の個体の写真なのか（平均的な形態、小さいほうの端、大きいほうの端といったこと）も記録しておくといよいと思います。

(2015年8月30日 ML に投稿)



## シロバナタンポポ開花

井内ゆみ（兵庫県）

今日（2015年11月9日）、買い物に出かけていたら、シロバナタンポポがたくさん咲いていたので報告



1 枚目



2 枚目

します。小雨の中で携帯で撮影したもので、よくない写真ですみません。

撮影日時：2015年11月9日12時40分ころ撮影

撮影場所：ローソン広畑蒲田店付近（兵庫県姫路市広畑区蒲田1丁目17、北緯34.820003度、東経134.639359度）

開花しているものとタネを付けているものの合計株数：姫路バイパスより北側に10株、南側で119株+

(2015年11月9日 ML に投稿)



## 「タンポポ調査・西日本2015調査報告書」の入手方法

タンポポ調査・西日本実行委員会事務局

・タンポポ調査報告会（2016年3月20日）に参加すると、参加費500円に報告書代が含まれています。

・郵送を希望される場合は、郵便振替口座あて振込みをお願いします。1冊1,000円（送料込み）です。事務局等での手渡しの場合は1冊500円です。

郵便振替口座：00950-3-221884

口座名：タンポポ調査・西日本実行委員会



## 「タンポポ調査・西日本2015」参加御礼

「タンポポ調査・西日本2015」にご参加いただいた多くの皆様のご協力と、各府県の事務局担当者のご努力に対して心より感謝申し上げます。今回の調査でも、新たな発見があった反面、さまざまな課題も見つかりました。まだ次の調査がどのような形で行われるか決まっていますが、タンポポ調査の更なる発展を目指せればと思います。このような調査

タンポポ調査・西日本実行委員会事務局を通じてタンポポを含む身近な自然環境に関心を持ってもらうきっかけになれば幸いです。

なお、タンポポ調査・西日本2015メーリングリストは引き続き利用できます。参加ご希望の方は、タンポポ調査・西日本2015ホームページ (<http://gonhana.sakura.ne.jp/tanpopo2015/index.html>) から参加申込みができます。

タンポポ調査・西日本実行委員会      西日本タンポポ調査ニュース      No. 6      2016年3月1日発行  
連絡先 (社) 大阪自然環境保全協会      〒530-0041      大阪市北区天神橋 1-9-13      ハイム天神橋 202 号  
TEL : 06-6242-8720      FAX: 06-6881-8103      ホームページ : <http://gonhana.sakura.ne.jp/tanpopo2015/>